

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2019 年 月 日

（報告先）  
横浜市長

住所 横浜市青葉区荏田西2-3-2

氏名 株式会社クリエイトエス・ディー  
代表取締役社長 廣瀬 泰三

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社クリエイトエス・ディー 代表取締役社長 廣瀬 泰三				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市青葉区荏田西2-3-2				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	60 その他の小売業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	5,742	kl	自動車の台数	台

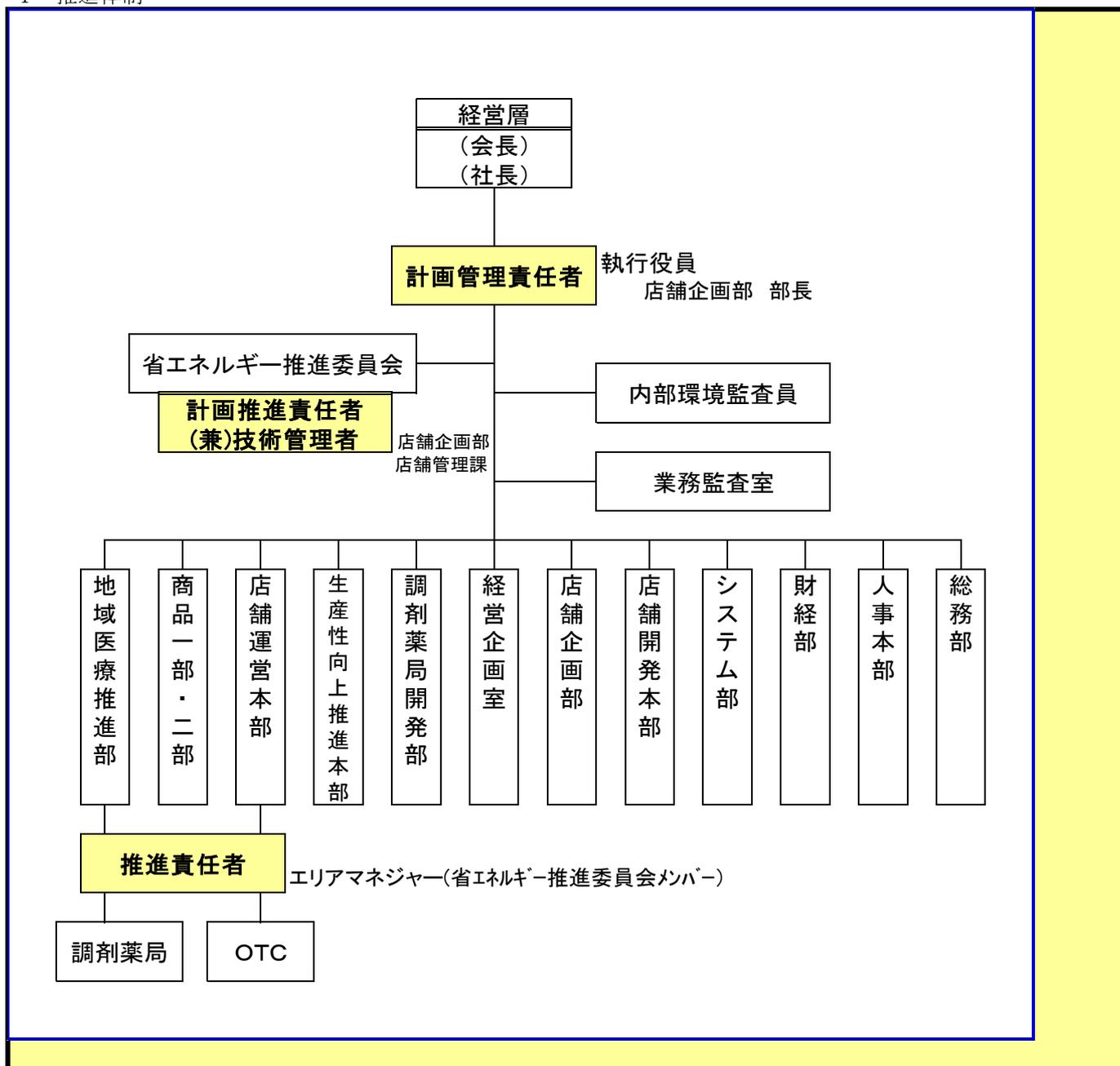
## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<b>【設備面】</b> 〔基本方針〕 照明のLED化・空調機・冷凍設備（冷ケース）の効率化
1. 照明設備の高効率化:店内照明と看板照明を全てLED照明に 既存店では店内照明は1店舗を除きLED照明に更新済み。看板照明を平成30年までにLED照明に更新予定。 新店では店内・看板共にLED照明を標準の仕様としている。
2. 空調機や冷ケースをより高効率なものに更新 既存店では平成33年までに高効率機器に更新予定。 新店では高効率機器を標準の仕様としている。
<b>【運用面】</b>
1. エアコン運用ルール of 全店整備済・実施継続中
2. 店内照明運用ルール of 全店整備済・実施継続中
3. お買物袋ご持参運動 of 全店整備済・実施継続中

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社クリエイトエス・ディー 本社
	所在地	神奈川県横浜市青葉区荏田西2-3-2
	閲覧可能時間	9:00～17:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	6,193	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	134.97	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>3</sup> h
	調整後	5,596	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	133.62	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>3</sup> h
目標年度 (2018年度)	目標排出量	6,131	t-CO <sub>2</sub>	削減率	1.0 %	削減率	1.0 %		
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	弊社では平成21年からいち早く省エネ対策の取組みを実施しております。〔①店舗別エネルギー消費量の把握 ②エアコン運用ルールを作成し全店で実施 ③店内照明の点灯ルールを作成し全店で実施 ④お買物袋ご持参運動の全店実施 ⑤店長会議にて取組み結果報告を実施して参りました。〕既存の事業所でも①高効率照明器具への更新（LED照明器具等の導入）②高効率空調設備の導入等を計画的に実施し、原単位年1%の削減を目標とします。								
事業者全体としての 目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	7,215	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲16.5 %	排出原単位	136.47	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>3</sup> h
	調整後	6,544	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲17.0 %		削減率	▲1.1 %	
目標等の達成状況 及び説明	平成28年度は既存店の店内照明のLED化を1店舗を残し随時実施し、空調機器、冷凍設備（冷ケース）における高効率化を推進し、温室効果ガスの削減を実施しました。新規店舗においてもLED・高効率冷凍機器を導入し、省エネ対策を進めています。また、運用面においても店内冷房ルール、照明運用ルールとともにお買物袋持参運動を継続して実施することで、継続的省エネに取り組んでいます。								
第二年度 (2017年度)	排出量	8,666	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲39.9 %	排出原単位	149.16	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>3</sup> h
	調整後	8,471	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲51.4 %		削減率	▲10.5 %	
目標等の達成状況 及び説明	2017年度は既存店の一部で看板照明のLED化、空調機器、冷凍設備（冷ケース）における高効率化を推進し、温室効果ガスの削減を実施しました。新規店舗においてもLED・高効率冷凍機器を導入し、省エネ対策を進めています。また、運用面においても店内冷房ルール、照明運用ルールとともにお買物袋持参運動を継続して実施することで、継続的な省エネに取り組んでいます。								
第三年度 (2018年度)	排出量	10,595	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲71.1 %	排出原単位	149.44	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>3</sup> h
	調整後	10,251	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲83.2 %		削減率	▲10.7 %	
目標等の達成状況 及び説明	2018年度は既存店の一部で看板照明のLED化、空調機器、冷凍設備（冷ケース）における高効率化を推進し、温室効果ガスの削減を実施しました。新規店舗においてもLED・高効率冷凍機器を導入し、省エネ対策を進めています。また、運用面においても店内冷房ルール、照明運用ルールとともにお買物袋持参運動を継続して実施することで、継続的な省エネに取り組んでいます。								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	毎年の店舗数増加と既存店の冷蔵・冷凍設備（冷ケース）の増設で排出量は増加しています。また、空調機器、冷蔵・冷凍設備（冷ケース）等の電気使用量は外気温に大きく左右されるため、猛暑による電気使用量の増加に伴い、排出量の増加となっている。								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO <sub>2</sub> )						
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	84	6,193	93	7,215	107	8,666	118	10,595
合計	84	6,193	93	7,215	107	8,666	118	10,595

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO <sub>2</sub> )						
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	93/93	—	年度			実施済	107/107	—	年度			実施済	118/118	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	93/93	—	年度			実施済	107/107	—	年度			実施済	118/118	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/93	—	2018年度		平成30年度全店舗実施完了予定	実施中	0/107	—	2018年度		各店舗、改装や故障対応等により機器の更新を随時実施している状況。	実施中	90/118	—	2020年度		各店舗、改装や故障対応等により機器の更新を随時実施している状況。
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	93/93	—	年度			実施済	107/107	—	年度			実施済	118/118	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため	
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため	
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため	
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため	
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため		非該当	/	—	年度	個別対象事業所がないため	
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	40/93	—	2018年度		平成30年度全店舗実施完了予定	実施中	80/107	—	2018年度		各店舗、改装や故障対応等により機器の更新を随時実施している状況。	実施中	108/118	—	2019年度		各店舗、改装や故障対応等により機器の更新を随時実施している状況。
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	92/93	—	2018年度		店内照明を既存店舗にてLED照明に更新中。1店舗は営業状況も鑑み更新検討中。	実施中	106/107	—	2018年度		各店舗、改装や故障対応等により機器の更新を随時実施している状況。	実施中	116/118	—	2020年度		各店舗、改装や故障対応等により機器の更新を随時実施している状況。
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	93/93	—	年度			実施済	107/107	—	年度			実施済	118/118	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため		非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備がないため	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		



細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	344	東京電力エナジーパートナー(株)、中部電力(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策</li> <li>・貨物等の運搬等のために他者の自動車を利用している場合の対策</li> <li>・従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策等、公共交通機関の利用促進に関する対策</li> <li>・地域における環境教育の実践</li> <li>・市域の緑地保全に関する取組</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策</li> <li>・貨物等の運搬等のために他者の自動車を利用している場合の対策</li> <li>・従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策等、公共交通機関の利用促進に関する対策</li> <li>・地域における環境教育の実践</li> <li>・市域の緑地保全に関する取組</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策</li> <li>・貨物等の運搬等のために他者の自動車を利用している場合の対策</li> <li>・従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策等、公共交通機関の利用促進に関する対策</li> <li>・地域における環境教育の実践</li> <li>・市域の緑地保全に関する取組</li> </ul>

14 実施状況等に対する自己評価

2018年度は既存店の一部で看板照明のLED化、空調機器、冷凍設備（冷ケース）における高効率化を推進し、温室効果ガスの削減を実施しました。  
新規店舗においてもLED・高効率冷凍機器を導入し、省エネ対策を進めています。  
また、運用面においても店内冷房ルール、照明運用ルールとともにお買物袋持参運動を継続して実施することで、継続的な省エネに取り組んでいます。